

<助成金情報>

まちづくり 2021年こくみん共済 coop 地域貢献助成

防災・減災活動、環境保全活動、子どもの健全育成活動について、地域で活動している団体を支援します。対象となる活動は以下のとおりです。

- ①自然災害に備え、いのちを守るための活動
- ②地域の自然環境・生態系を守る活動
- ③温暖化防止活動や循環型社会づくり活動
- ④子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動
- ⑤困難を抱える子ども・親がたすけあい、生きる力を育む活動

〔助成金額〕 上限30万円(総額2,000万円を予定)
〔申込締切〕 9月30日

【対象団体】
NPO法人
市民活動団体

〔発信元 共済coop〕
〔URL〕 <https://www.zenrosai.coop/zenrosai/csr/josai>

環境 TOYO TIREグループ環境保護基金 2022年度募集

公益に資する事業を計画している団体で、環境保護・環境保全関連の事業活動を行っている団体を対象に助成します。

〔助成金額〕 上限150万円
〔申込締切〕 9月30日

【対象団体】
NPO法人
市民活動団体

〔発信元 (公社)日本フィランソपी協会〕
〔URL〕 <https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/>

スポーツ スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツや、心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツを推進する取組に対して助成します。

〔助成金額〕

【チャレンジコース】 50万円以下(1年間分)
地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの

【アドバンスコース】 300万円以下(2年間合計)
地域を超えたコミュニティスポーツの深化をめざすもの

〔申込締切〕 9月22日

【対象団体】
NPO法人
市民活動団体

〔発信元 (公財)住友生命健康財団〕
〔URL〕 <https://skzaidan.or.jp/news/697/>

子ども 子供の未来応援基金 第6回 未来応援ネットワーク事業 募集

応募する法人等が自ら主催する事業であり、次に該当する子どもの貧困対策のための事業を支援金の交付対象事業として募集します。

- ①様々な学びを支援する事業
- ②居場所の提供・相談支援を行う事業
- ③衣食住など生活の支援を行う事業
- ④児童又はその保護者の就労を支援する事業
- ⑤児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業
- ⑥その他、貧困の連鎖の解消につながる事業

〔助成金額〕 事業A:上限300万円
事業B:30万円または100万円
〔申込締切〕 10月4日

【対象団体】
NPO法人
市民活動団体

〔発信元 独立行政法人福祉医療機構NPO/リソースセンター〕
〔URL〕 <https://www.wam.go.jp/hp/miraioen6th/>

福祉 組織および事業活動の強化資金助成

社会福祉に関する活動を行う団体を対象とし、以下の費用を対象に助成します。

- ①団体の基盤強化に結びつく事業に必要な費用
- ②組織の強化に必要な費用
- ③事業活動の強化のために行う、新規事業または既存事業の拡充・サービス向上に必要な費用

〔助成金額〕 1団体上限70万円(総額1,000万円)
〔申込締切〕 10月8日

【対象団体】
NPO法人

〔発信元 (公財)SOMPO 福祉財団〕
〔URL〕 <http://www.sompo-wf.org/jyosei/kibankyouka.html>

※各種助成金の詳細については、
発信元のホームページをご覧ください。



ますだすまいる 通信

特定非営利活動法人が設立しました！

2021年6月、益田市で25法人目となる特定非営利活動法人(NPO法人)が設立しました。今回新しく設立された法人は「特定非営利活動法人 ステップチャレンジ」です。

特定非営利活動法人 ステップチャレンジ

代表者 桐田 和典

所在地 益田市高津町イ2577番地35

【目的】

この法人は、地域の高齢者及びハンディキャップを持たれる方に対して、日中活動の場・就労の場を提供する事業を行うことで、地域の産業の振興と障がい者の福祉の発展に寄与することを目的とする。

【事業】

- (1) 障がい者の日中活動支援事業
- (2) 障がい者の就労訓練事業
- (3) 障がい者の就労の場を提供する事業
- (4) 障がい者のための仲間作り事業
- (5) 農業生産事業
- (6) クリーニング事業
- (7) 地域貢献事業
- (8) 飲食事業
- (9) 障がい者総合支援法に基づく障がい者自立支援事業
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

◇お知らせ

(公財)ふるさと島根定住財団より NPO入門講座アーカイブ配信開始

NPOについて学びたい時に、いつでもどこでも学んでいただけるよう、7月27日(火)に開催した「はじめの一步!NPO入門講座」のYouTube配信を始めました。「NPOってそもそも何?」「どんな活動ができるの?」...等、クイズを通して学べる内容になっています。

講師 中野俊雄氏
(行政書士・専門相談員)

時間 約90分

↓動画・資料はこちら↓
<https://www.shimane-ikiiki.jp/news/3063>



Pegasus クラブより 10月のヨガ体験会

日時 10月4日・11日・18日・25日の毎週月曜日
①13:30~14:45
②16:15~17:30
③19:00~20:15
※変更等の場合は申込者に連絡します。

場所 市立市民学習センター
参加料 1回500円
申込方法 氏名、電話番号、参加希望時間(①・②・③)をメールで連絡してください。
※複数参加OK

申込締切 開催日の1週間前
【申込み・問い合わせ先】
Pegasus クラブ(代表 大達)
TEL:090-5370-6110
mail: zero2468to@docomo.ne.jp



応募締切
10月15日
(金)
当日消印有効

令和3年度 島根県県民いきいき活動奨励賞 募集



私たちが住むまちがもっと“いきいき”するために、自主的に取り組まれている社会貢献活動を募集します。たとえば「山や海の環境を守る活動」「子育てを支援する活動」「世代を超えた地域の交流活動」など、地域でキラリと光る活動をご推薦ください。ご推薦いただいた中から、特に地域社会への貢献度の高い活動を「県民いきいき活動奨励賞」として知事表彰し、PR誌等で広く紹介させていただきます。地域で支えあう「いきいき活動」を応援し、参加して、大きな輪に広がっていきましょう。

●募集部門

NPO・ボランティア部門

県内に主たる事務所がある、ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人など

企業部門

県内に本支店又は営業所等がある企業

ユース部門

県内の高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校、大学、専修・各種学校の生徒・学生又はこれに相当する年齢の青少年の団体

●募集対象

自主的・主体的な取組であり、次のいずれにも該当する県民いきいき活動（個人は対象外です。）

- (1) 地域の課題にいち早く着目し、積極的に取り組んでいる
- (2) 地域社会への貢献度が高いと認められる結果や効果が現れている
- (3) 概ね5年以上（ユース部門は概ね3年以上）行われ、将来にわたり継続する見込みがある
- (4) 過去に「県民いきいき活動奨励賞」を受賞していないもの
- (5) 暴力団等反社会的勢力と認められる団体でないもの

●選考と表彰

表彰団体は、県民いきいき活動奨励賞審査委員会の選考を経て決定されます。表彰は、令和3年12月頃の予定です。

●選考と表彰

令和3年8月19日（木）～10月15日（金）

お問合せ 応募書類送付先

島根県 環境生活部 環境生活総務課 NPO活動推進室
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL：0852-22-6099 FAX：0852-22-5636
Eメール：npo@pref.shimane.lg.jp

●応募方法

- 自薦、他薦は問いません。（未成年者が代表の場合は成年者の連絡担当者を1名記載してください。）
- 以下の書類を島根県NPO活動推進室まで持参または郵送してください。
 - (1) 県民いきいき活動奨励賞推薦書
 - (2) 活動経歴のわかる資料など
 - (3) 団体役員名簿

令和2年度の表彰団体

【NPO・ボランティア部門】

- ◆傾聴の会 まつえ一期（松江市）
- ◆しまねエコライフサポーターズ出雲支部（出雲市）
- ◆しまね縁結びはぴこ会（松江市）
- ◆周布地営農組合（浜田市）
- ◆たのしい楽団（松江市）
- ◆特定非営利活動法人サポートセンターどりーむ（出雲市）
- ◆鷲巣慶人会（出雲市）
- ◆松崎神社 大行司保存会（浜田市）

【企業部門】

- ◆株式会社中筋組（出雲市）
- ◆株式会社藤原技研工業（松江市）
- ◆まるなか建設株式会社（松江市）

【ユース部門】

- ◆島根県立情報科学高等学校（安来市）
- ◆島根県立大学 献血サークルあかえんぴつくん（出雲市）

応募の際は、必ず「募集要項」
をお読み下さい。

応募要項や推薦書の様式などは
ホームページをチェック！

島根県 県民いきいき活動奨励賞

【けやき学園 講座「益田の民話」～NPO法人 NPO-MASUDA】



8月11日（水）市民学習センターで開催された、NPO法人NPO-MASUDAによる「けやき学園」の講座「益田の民話」に参加しました。講師の原田フジエさんは、長年市内でボランティアガイドとして活躍しており、益田の歴史・文化等に詳しい方です。民話を広める活動として、市内の保育園等で自ら作成した紙芝居の読み語り活動もされています。これまで作成した紙芝居は33話！

その内、今回は「相島」というお話を聞かせていただきました。絵は全て原田さんの手書きで、一枚一枚丁寧に描かれた絵からは温かみを感じました。講座の中で印象に残ったのは、物語が終わる時に使われる言葉に違いがあることです。「めでたし、めでたし」や「おしまい」のように話の最後を締める言葉にも方言があるそうで、「これでけっちりこ」や「とっぴんぱらりのぼう」「昔こっぼり大山のやまの鳶の糞ヒンロロヒンロロ」など、聞いたことのない言葉ばかり。地域性が出ていて面白く感じました。その他、東京オリンピックの話題から貨幣のお話、津和野藩と浜田藩の参勤交代のお話など、様々な歴史のお話を聞くことができ、学びの多い講座でした。



粘土でできた手作りの金メダル。重さは実際のメダルと同じで約550gです。

【8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキの被爆から76年

全ての被爆者に想いを馳せ心に刻む市民のつどい～市民活動養成塾

8月13日（金）益田市人権センターにて、市民活動養成塾による「8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキの被爆から76年～全ての被爆者に 想いを馳せ 心に刻む 市民のつどい～」が行われ、当日参加した14名で映画「ひろしま」を視聴しました。原爆の投下から8年後に製作された映画「ひろしま」は、出演している方の多くが実際に被爆した方々です。実際に原爆を体験した方たちが演じたからこそ、原爆の恐怖・悲惨さが見る側に強く伝わってきました。上映後には、市内在住の被爆者 笹尾さんからメッセージがありました。その中から、一部を紹介します。



〔メッセージ一部抜粋〕

今日このような集いが持たれ、原爆の映画「ひろしま」を見せていただき、76年前のことを思い出して胸が詰まる思いでした。二度とこのような悲惨な出来事が繰り返されないために、改めて「核兵器禁止条約」を批准してほしいと思います。学校や地域で次の世代につながる平和教育を実施していただきたいです。

戦後76年が経ち、戦争に対する記憶が徐々に薄れていっている中で、映像等を通して若い世代や後世に語り継いでいくことが重要だと感じました。